

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 4 月 9 日 (2009.4.9)

【公開番号】特開 2008-4003 (P2008-4003A)
 【公開日】平成 20 年 1 月 10 日 (2008.1.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-001
 【出願番号】特願 2006-175262 (P2006-175262)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/117 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 1/00 4 0 0 H

A 6 1 B 5/10 3 2 0 B

H 0 4 N 5/225 C

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 20 日 (2009.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被撮影者の顔画像を撮影する顔撮影装置において、
被撮影者の顔画像を撮影する撮影手段と、
前記撮影手段の前方の最も明るい光の方向を検出する光方向検出手段と、
前記光方向検出手段によって検出された前記光の方向の前記被撮影者の顔画像を前記撮
影手段が撮影するように制御する制御手段と
を備えることを特徴とする顔撮影装置。

【請求項 2】

前記撮影手段は、
旋回機構を有し、
前記制御手段は、
前記旋回機構を制御して、前記光方向検出手段で検出された前記光の方向へ前記撮影手
段を向けることを特徴とする請求項 1 に記載の顔撮影装置。

【請求項 3】

前記撮影手段は、
広角カメラであることを特徴とする請求項 1 に記載の顔撮影装置。

【請求項 4】

前記光方向検出手段によって検出された前記光の方向に基づいて前記被撮影者を当該光
の方向に立つように案内する案内手段
をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の顔撮影装置。

【請求項 5】

前記被撮影者が立った方向を検出する立ち方向検出手段
をさらに備え、
前記制御手段は、
前記光方向検出手段で検出された前記光の方向と前記立ち方向検出手段で検出された前

記被撮影者が立った方向とが略一致した場合に、前記被撮影者の顔画像を前記撮影手段が撮影するように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の顔撮影装置。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の前記顔撮影装置を有し、前記撮影手段によって撮影された前記被撮影者の顔画像と予め記憶された顔画像とを照合して本人認証を行う顔照合装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】顔撮影装置および顔照合装置